

WIÑAYPACHA

オスカル・カタコラ監督作品

アカデミー賞®2018
国際映画賞
ペルー代表

第33回ゴヤ賞
イペロアメリカ映画賞
ペルー代表

グアダラハラ
国際映画祭2018
最優秀初監督賞&撮影賞

監督・脚本・撮影:オスカル・カタコラ 編集:イレーネ・カヒアス 出演:ローサ・ニーナ、ビセンテ・カタコラ

日本語字幕:新谷和輝 アイマラ語監修:藤田護、マリオ・ホセ・アタバワカル、矢島千恵子 後援:在日ペルー大使館 協力:日本ペルー協会

ペルー | 2017年 | アイマラ語 | 86分 | 原題:WIÑAYPACHA | 英題:ETERNITY | ©2017 CINE AYMARA STUDIOS

CINE AYMARA STUDIOS PRESENTS WIÑAYPACHA CAY ROSA NINA / VICENTE CATAKORA IRENE CAJAS EDWIN E RIVA
ART DIRECTOR HILARIA CATAKORA FILM EDITOR FELIPE CARBAJAL PRODUCTION DESIGNER DULIO PALOMINO EXECUTIVE PRODUCERS OSCAR CATAKORA CAS PRODUCERS ROSA MARIA OLIART
COSTUME DESIGNER JAVIER PIRAGAUTA PASSE EXECUTIVE PRODUCERS PAULO DE CARVALHO / GUDULA MEINZOLF EXECUTIVE PRODUCERS TITO CATAKORA EXECUTIVE PRODUCERS OSCAR CATAKORA

AYMARA YouTube VECHIAFILMS

アンデス、 ふたりぼっち

ペルー、標高5000メートルの
高地に暮らす老夫婦、そしてリヤマ
息子の帰りを山に祈る



ペルー映画の俊英が静かに描き出す、小津安二郎を彷彿とさせる雄大な自然とふたりだけの宇宙

新しいポンチョを織ってくれないか

老夫婦の厳しくも逞しく生きる愛の物語。

その行き着く先は——観客の心を震わせるラストシーンを目撃する

南米・アンデス山脈。標高5,000mを越える社会から遠く離れた場所に暮らすパクシとウィルカ。

アイマラ文化の伝統的な生活の中で、リヤマと羊と暮らしていた。コカの葉を噛み、

日々の糧を母なる大地パチャママに祈る。ある日、飼っていた羊がキツネに襲われてしまう。

さらに、マッチを買いにいった夫・ウィルカはその途中に倒れてしまう…。

そして都会に出た息子の帰りを待つふたりにやがて訪れる衝撃のラスト。



ペルーのシネ・レヒオナル(地域映画)の傑作、日本初公開

小津安二郎や黒澤明の日本映画に大きな影響を受けた——

惜しくも夭折した期待の新星、オスカル・カタコラ監督初長編にして遺作

本作は、ペルー映画史上初の全編アイマラ語長編作品として注目され、ペルー本国で異例の大ヒットとなった。ウィルカ役は監督の父の祖父が、パクシ役は映画もみたことのない素人が演じている。監督は、ペルー南部プーノ県出身のオスカル・カタコラ監督。アイマラの文化・風習の中に、私たちが存在を知らながらも目を背けていた現実を、雄大なアンデスの自然と共に痛烈に描いた。ペルーのシネ・レヒオナル(地域映画)の旗手として今後の活躍を期待されていたが、2021年11月、2作目の撮影中に34歳の若さでこの世を去ってしまう。本作が長編初作品であると同時に遺作となった。

ペルーのシネ・レヒオナル(地域映画)とは……ペルーの首都リマ以外の地域で、その地域を拠点とする映画作家やプロダクションによって制作される映画を指す。娯楽的なジャンル映画から作家性の強いアート映画までタイプは様々だが、いずれの作品もその地域独自の文化や習慣を織り込んでおり、都市圏一極集中ではない多角的なペルー映画を構成している。

アンデス、ふたりぼっち WIÑAYPACHA

監督・脚本・撮影:オスカル・カタコラ 編集:イレーネ・カヒアス 出演:ローサ・ニーナ、ピセンテ・カタコラ
日本語字幕:新谷和輝 アイマラ語監修:藤田護、マリオ・ホセ・アタマ・ウカル、矢島千恵子 後援:在日ペルー大使館 協力:日本ペルー協会
ペルー | 2017年 | アイマラ語 | 86分 | 原題:WIÑAYPACHA | 英題:ETERNITY

©2017 CINE AYMARAS STUDIOS. www.buenawayka.info/andes-futari @andesfutari



7.30(土)公開

ペルーが香る、ペルー産コーヒー
初日鑑賞者全員にプレゼント!!

※ドリップパック1袋 提供:南米市場キョウダイマーケット



新宿K's cinema

新宿駅南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入ル
03(3352)2471 www.ks-cinema.com
各回入替・全席指定席



老夫婦の威厳、そして愛おしさ。
しかし彼らの叫びは誰にも届かない。
カメラは笛の音に聞き入る神々の気配をとらえ、
観る者を震撼させる。——
池田香代子
(翻訳家/「世界がもし100人の村だったら」)

母なる大地で、たっぷりの愛情で生きる二人。
なんにもないけど、静かで豊か。
小津映画のようなさわやかな後味。
久々に心が満腹! ——
鎌田實 (医師・作家)



特別鑑賞券1,300円(税込)発売中(当日一般1,800円のところ)